

地域の課題を解決する、自治体と協業したあそび場づくり 兵庫県豊岡市「WACCU TOYOOKA こども広場」 3月27日オープン 駅直結の商業施設内に、雨や雪の日も体を動かして遊べる場を開発

子どもの健やかな成長に寄与することを目的に、教育玩具・遊具の輸入・開発・販売とあそび場づくりを行う株式会社ボーネルンド（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：中西弘子）は、行政と協業し、地域のあそびを充実させるあそび場の開発・運営を進めています。3月27日には、兵庫県豊岡市と協業開発した全天候型の屋内あそび場「WACCU TOYOOKA こども広場」がオープンします。

子どものあそびや多世代交流の促進に … 社会インフラとしての「あそび場」を、多くの自治体と開発

昨今、子どもが存分に体を動かして遊べる環境が減少し、子どもの体力やコミュニケーション能力の低下が危惧されています。また、子育て中の親の孤立化も課題となっています。こうした問題を解決すべく、当社は自社の室内あそび場「キドキド」の開発・運営で培ったノウハウを生かし、自治体と協働してこれまで全国に約60カ所のあそび場を開発してきました。これらの施設は子育て中の親と子に加え、幅広い世代の方々が交流するきっかけとなり、地域のコミュニティのハブとして、街の活性化にも寄与しています。

兵庫県豊岡市：駅直結の商業施設内に、雨や雪の日でも遊べる全天候型のあそび場をオープン

兵庫県豊岡市は、県の北東部に位置する、日本海と中国山地の山々に囲まれた都市です。コウノトリの生息地として知られているほか、温泉や海水浴、スキーやスノーボードなど、豊かな自然を活かした様々なレジャーが楽しめ、利便性も高いことから、移住地としても注目されています。

豊岡市は、「多様性を受け入れるまちづくり」を実現するため、重点的に取り組むテーマの一つとして「女性に選ばれるまちの実現」を進めています。その一環として子育てしやすいまちづくりを進めるとともに、子どもたちが心身ともに健やかに成長できるよう、さまざまな取り組みを展開しています。その一例として、市内のすべての保育園等で体を動かす運動遊びや英語遊びを積極的に取り入れています。

一方で、豊岡市は雨が多く、特に12月から3月の約4割が雪景色という気候であり、冬は子どもが外で遊ぶことが難しいという課題がありました。そこで、子どもたちが気候に左右されず、好きなときに好きなだけ体を動かして遊べるよう、アクセスしやすいターミナル駅直結の商業施設内に、全天候型の屋内あそび場「WACCU TOYOOKA こども広場」を当社と協業して開発しました。



日々の買い物やお出かけも兼ねて、誰もが気軽に利用できる場となるよう、幅広い年齢の子どもの発達段階に沿った多様なあそびを用意しました。場内のデザインは、地域への愛着が育めるよう、豊岡市の風景や文化財、コウノトリなどのモチーフをあしらっています。場内は、「アクティブエリア」「ベビーエリア」「ロールプレイエリア」の3つに分かれており、外遊びが難しい冬の期間にも存分に身体を動かせるよう、アクティブエリアとチャレンジエリアを広く設計しました。商業施設を回ったりあそび場で遊んだりして疲れた際に、ひと休みできるレストスペースも設けています。

● アクティブエリア

思いきり全身を動かして遊べるエリアです。日常生活では体験しにくい、回転する、よじ登る、ぶら下がるなどの多様が動きを、遊びながら体感できます。チャレンジエリアには、学童期の子どもが、「もっとはやく!」「もっと高く!」と何度も挑戦したくなるような遊具やしかけを揃えています。

● ベビーエリア

乳幼児期の子ども向けの遊具が充実した、親子で触れ合い、遊べるエリアです。あそびを通じて、子どもの成長を発見し、心のゆとりを持って見守れるような空間を目指しました。

● ロールプレイエリア

パズル・ブロック遊び、ごっこ遊びなど、じっくり考えたり、表現したりするあそびができるエリアです。親子や子ども同士で会話をしながら、自由に表現を楽しみながら、想像力や発想力を存分に発揮できるあそびが揃っています。



アクティブエリアイメージ



ベビーエリアイメージ



ロールプレイエリアイメージ

兵庫県豊岡市 「WACCU TOYOOKA こども広場」 概要

- 所在地 : 兵庫県豊岡市大手町4番5号アイティ4階
- 施設面積 : 約800㎡
- 利用可能時間 : 10:00~17:30 (90分4クール 入替制)
- 休場日 : 火曜日(火曜日が祝日の場合その翌日)
- 利用対象者 : 小学生以下のお子様とその保護者
- 利用料 : 子ども200円 大人300円 (1歳未満 無料) ※予約制
- 開業日 : 2022年3月27日(日)14時
- 電話番号 : 0796-34-6688
- 公式サイト : <https://www.aity-kodomohiroba.com/>
- 運営管理 : アイティ豊岡都市開発株式会社

自治体と協業したあそび場の開発 事例紹介

京都府宮津市：子育て支援センター「にっこりあ」（2017年11月オープン）



宮津市では、地域に住む就学前の子どもを持つ子育て世帯のくらしをより豊かなものにするため、市内唯一の商業施設内に、地域密着型のあそび場施設「子育て支援センター「にっこりあ」」を開設しました。多種多様な遊具で子どもが思う存分体を動かして遊べるのはもちろん、定期的なイベントを開催し、繰り返し訪れても飽きのこない、子育て支援の拠点施設を目指しています。また、親子の生活の相談役として保育士が常駐したり、休憩スペースや子育て相談室が併設されるなど、育児サポートも充実しています。人口1.7万人の市で、3年間でのべ約10万人が来場し、子育てに欠かせない場となっています。

愛知県春日井市：子ども屋内あそび場「ぐりんぐりん」（2022年2月オープン）



春日井市では、核家族化や共働き家庭の増加など子育て環境が変化し、地域で子育てを見守る体制づくりや、小学生が放課後に過ごせる環境整備のニーズが高まってきました。こうした状況をふまえ、緑豊かな落合公園の中にある施設内に、天候に左右されず利用できる子ども屋内あそび場「ぐりんぐりん」を開発しました。学童期の子どもが放課後に過ごせる場所となるよう、当社がプロデュースする自治体のあそび場で初めて、小学生以上は保護者同伴でなくても利用できる運営体制とし、オープン以来、多くの親子や小学生に利用されています。

【ボーンランドについて】

ボーンランドは、あそびを通して子どもの健やかな成長に寄与するため1981年に設立し、一貫して“あそびの道具と環境”を提供する事業を展開。一般家庭へ向け、子どもの成長に必要な生活道具としての“あそび道具”を提案、全国64ヶ所で店舗を展開しています。同時に幼稚園や保育園、公園などに高品質な大型遊具や教育道具の提供を含めたあそび環境の開発を行っており、現在までに手掛けた実績は国内約3万5千ヶ所まで拡大しています。また、2004年からは、子どもが遊ぶ機会を増やすために、親子一緒に様々なあそびを体験できる屋内あそび場「キドキド」事業をスタートし、現在では「プレイヴィル」「トット・ガーデン」を含む直営のあそび場全国25ヶ所、さらに「キドキド」のノウハウを取り入れた行政のあそび場を全国約60ヶ所プロデュース、年間350万人以上の親子が訪れています

【報道関係の方のお問い合わせ先】

株式会社ボーンランド 広報部
担当：西山、村上
TEL：03-5785-0860、080-5901-3591
e-mail public-relations@bornelund.co.jp

【一般の方のお問い合わせ先（ご掲載用）】

株式会社ボーンランド
TEL:03-5785-0860（月～金 10:00～17:00）